

積丹町

津波防災マップ



津波浸水予測図

津波浸水予測図について

- 平成29年2月に北海道が公表した日本海沿岸における最新の津波シミュレーション結果を反映した「津波浸水予測範囲」を掲載しています。
- 右図にある地震による津波を想定したシミュレーション結果の中で、最大の浸水範囲、浸水深を表示しています。
- 地震の震源が、想定よりも陸地に近いなど、条件が異なる場合は浸水予測範囲以外でも浸水する可能性があります。できるだけ高い場所へ避難してください。

津波注意報・警報の種類	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報(特別警報)	10m超	巨大	・ただちに高い場所など安全な場所へ!
津波警報	5m	高い	・より高い場所を目指して避難を!
津波注意報	3m	高い	・海岸から離れる。 ・注意報が解除されるまで海岸に近づかない。

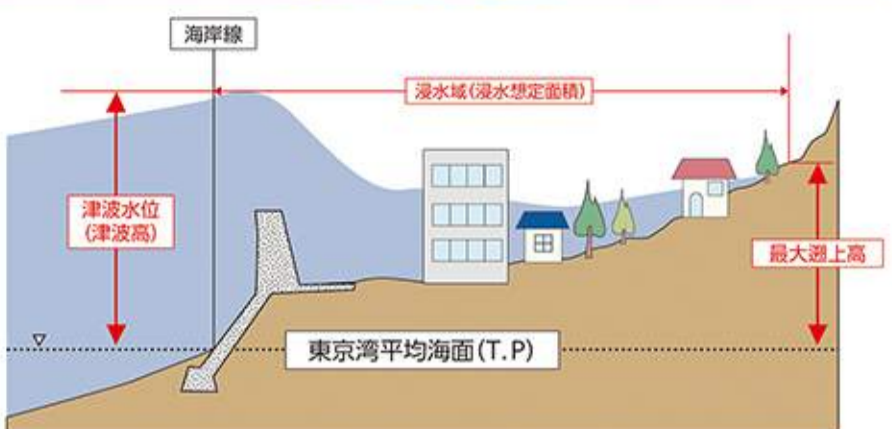
津波浸水予測範囲	最大浸水深(m)
濃い赤色	20m以上
赤色	10m ~ 20m 未満
オレンジ色	5m ~ 10m 未満
黄色	3m ~ 5m 未満
薄い黄色	1m ~ 3m 未満
淡黄色	0.5m ~ 1m 未満
白	0.3m ~ 0.5m 未満
白	0.3m 未満

(平成29年2月9日北海道公表)

マップの見方

各地区の津波水位等は、6つの想定津波波源域のうち、最も影響を及ぼす数値と時間を抜粋しています。

用語の説明



浸水域(浸水想定面積)
海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域(面積)

津波水位(津波高)
津波来襲時の海岸線での海面の高さ(標高で表示)

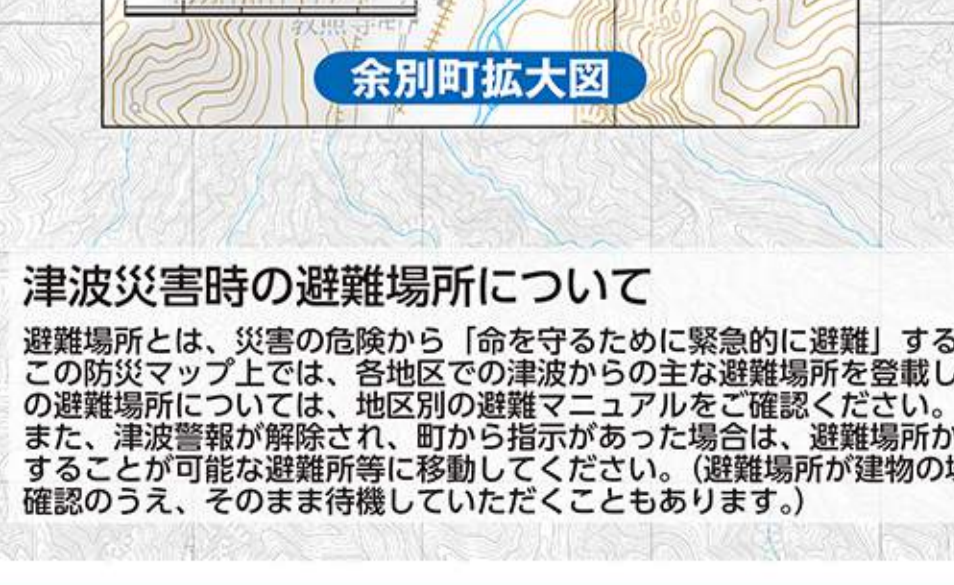
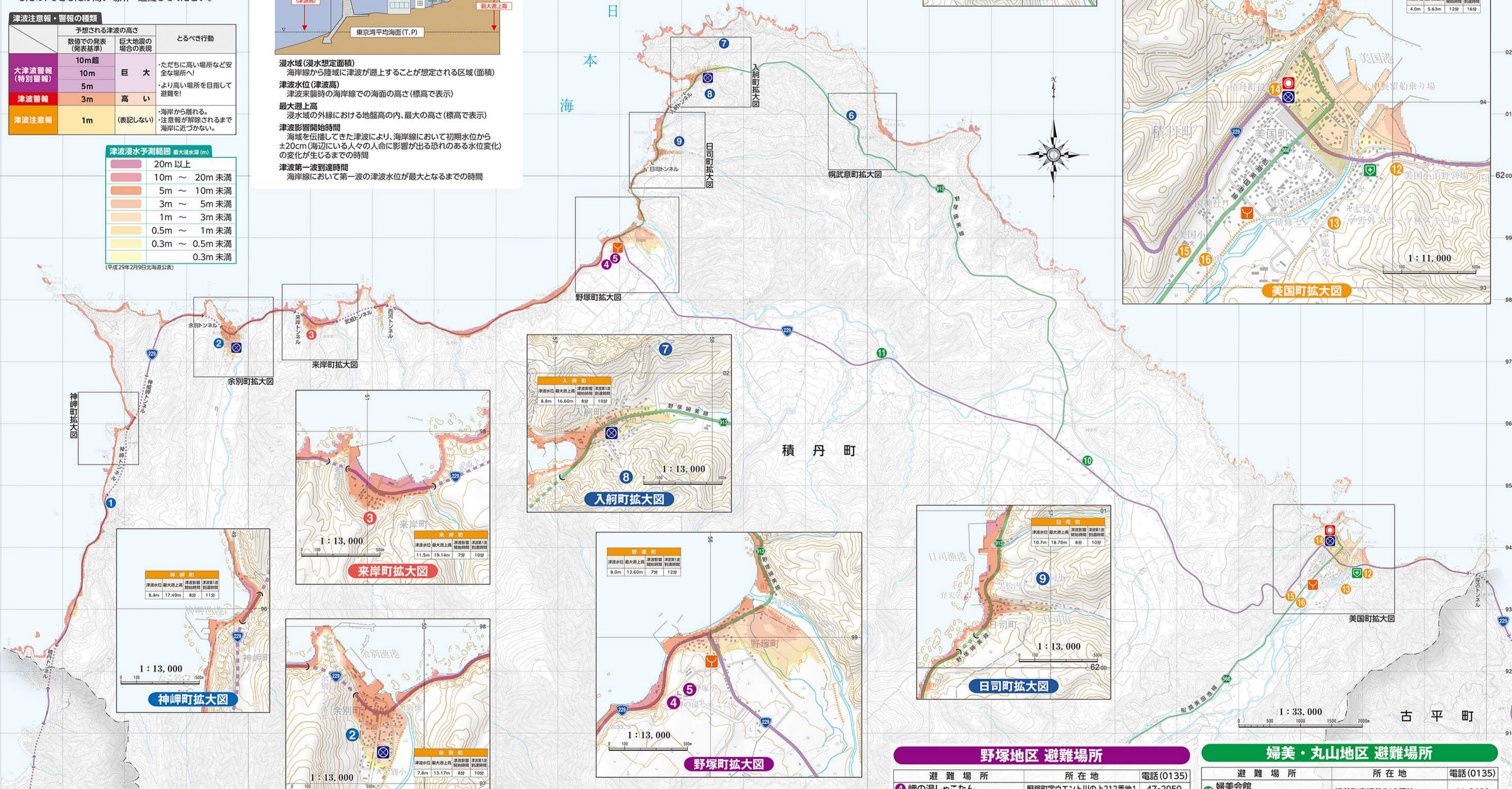
最大浸水深
浸水域の外縁における地盤高の内、最大の高さ(標高で表示)

津波影響開始時間
海域を伝播してきた津波により、海岸線において初期水位から±20cm(海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化)の変化が生じるまでの時間

津波第一波到達時間
海岸線において第一波の津波水位が最大となるまでの時間



凡例	
積丹町役場(災害対策本部)	避難場所
積丹町立国保診療所	国道
警察署(駐在所)	道道
消防署(積丹支署)	



余別・神岬地区 避難場所

避難場所	所在地	電話(0135)
1 神岬会館	神岬町39番地1 ほか	46-5054
2 雙源寺前広場	余別町49番地2 ほか	46-5069

野塚地区 避難場所

避難場所	所在地	電話(0135)
4 岬の湯しゃこたん	野塚町字ウエスト川の上212番地1	47-2050
5 野塚小学校	野塚町326番地	45-6009

幌武意・入舸・日司地区 避難場所

避難場所	所在地	電話(0135)
6 旧幌武意小学校グラウンド	幌武意町44番地	—
7 島武意駐車場	入舸町字岬町山ノ上472番地21 ほか	—
8 入舸稲荷神社	入舸町字白井ノ沢211番地2	—
9 日司小学校	日司町233番地1	45-6075

婦美・丸山地区 避難場所

避難場所	所在地	電話(0135)
10 婦美会館	婦美町字婦美519番地	44-2620
11 丸山会館	野塚町字丸山1101番地1	45-6303

美国地区 避難場所

避難場所	所在地	電話(0135)
12 小泊野営場駐車場	美国町字小泊29番地10	—
13 研修センター	美国町字美良波115番地5	44-3466
14 総合文化センター	美国町字船瀬48番地12	44-2111
15 美国小学校	美国町字大沢214番地	44-2044
16 美国中学校	美国町字大沢351番地1	44-2047

津波災害時の避難場所について

避難場所とは、災害の危険から「命を守るために緊急的に避難」する場所です。この防災マップでは、各地区での津波からの主な避難場所を登録しており、その他の避難場所については、各地区の避難マニュアルをご確認ください。また、津波警報が解除され、町から指示があった場合は、避難場所から一定期間滞在することが可能な避難所等に移動してください。(避難場所が建物の場合は、安全を確認のうえ、そのまま待機していただくこともあります。)

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を使用した。(保証番号 平28商後 第307-GSMAP3806号)